

中国向け越境 ECプラットフォーム  
「Wonderfull Platform」を運営するInagora株式会社  
8月5日(金)より『豌豆公主』にて  
『ロフト』プライベートブランド商品販売開始  
<http://inagora.com/>

中国向け越境 ECプラットフォーム「Wonderfull Platform」を運営する、Inagora株式会社（代表取締役：翁 永綱 所在地：東京都港区 以下「インアゴーラ」）は、同社運営のショッピングアプリ『豌豆公主』にて、株式会社ロフトのプライベートブランド商品の一部を、2016年8月5日(金)より販売開始したことをお知らせいたします。

『豌豆公主』は日本の商品に特化した中国向けの越境 ECプラットフォームであり、初期費用や固定費が無料のため、低コストで出店できるのが特徴です。『豌豆公主』によって、中国で既に人気のアイテムから、中国ユーザーの認知度が低い商品まで、アプリ内の SNS 機能（プリンセストーク）やコンテンツを通じて、より浸透させていくことができます。中国向けのコンテンツ制作や物流などは『豌豆公主』が全て代行するため、日本の売り手側は商品とその情報を提供するだけで、巨大な中国のマーケットに進出することが可能となります。

今回、インアゴーラは『豌豆公主』にて、ロフトの商品を通じ、近年急激に中国内で高まるライフスタイルの意識向上のニーズに対応し、都心部の若者世代に人気の高い日本のおしゃれなライフスタイルを提案して参ります。

具体的には、2016年8月5日(金)より『豌豆公主』の様々なコンテンツ PGC(※1) や UGC(※2)を通じて、約40SKUの商品を季節やライフスタイルに合わせて提案し、ユーザーの満足度の極大化を図るとともに、将来的に扱い品目の増加を目指します。

※1：編集部によるトピックス=企業 HP やブランド紹介ページ、編集部制作の記事・動画コンテンツ等 ※2：ユーザーによるコメント=ユーザー口コミ情報、サンプリング結果等

インアゴーラは、今後も良質な日本製“商品”と日本のライフスタイル“情報”を提供し続けることで、日中間 No.1の越境 EC プラットフォームとなることを目指しております。

# Inagora

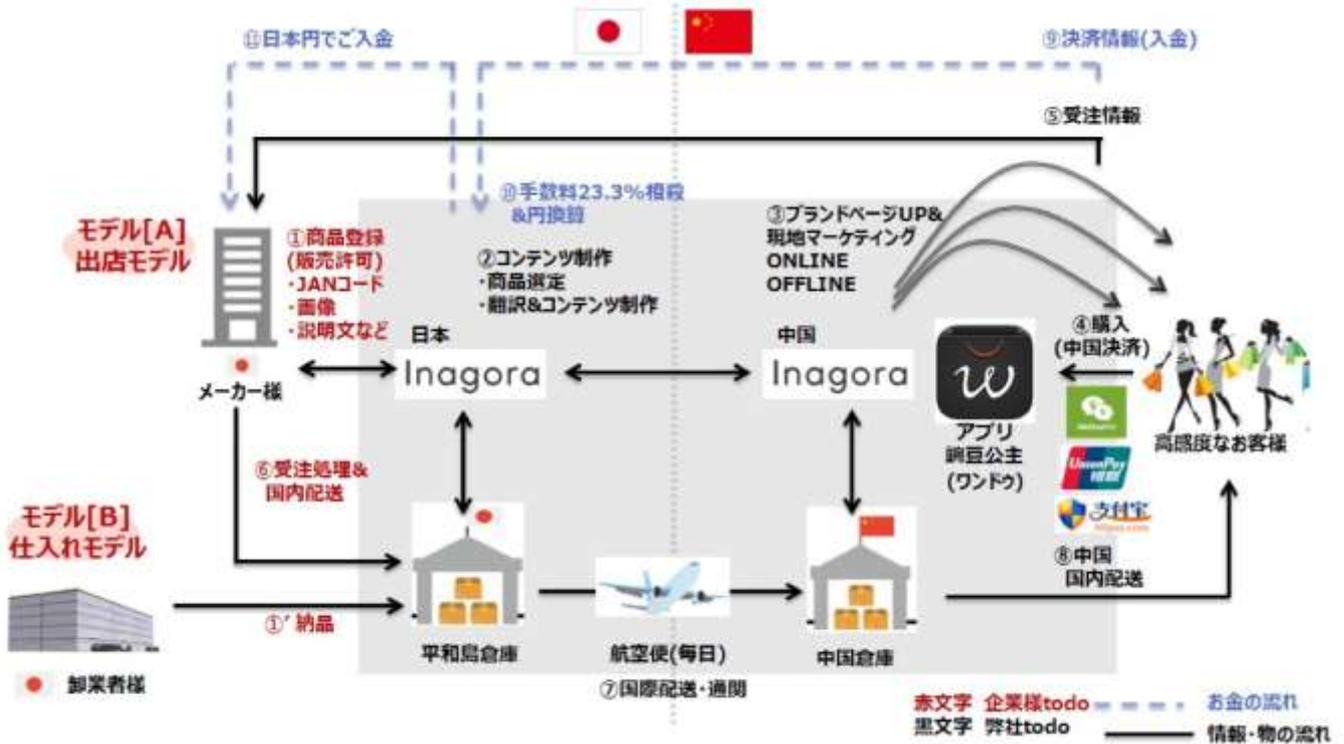
## ■『<sup>ワンダフル</sup>豌豆公主』について

2015年8月のリリース以来、ユーザー数は約100万、1日の最高注文数は5000件を突破し、花畑牧場や源吉兆庵、HACCI、Lumielina 等と中国における独占代理権を有しております。取扱商品数は3000SKU を超え、ファッションや美容化粧品から日用品、食品など多岐にわたったジャンルの商品を取り揃えております (2016年6月時点)。

2015年11月には中国大手 EC プラットフォーム「<sup>ジンドン</sup>京東」や「<sup>ハイゴ</sup>美麗説HIGO」と戦略的業務提携を締結し、『<sup>ワンダフル</sup>豌豆公主』以外のユーザーに対しても、自社ブランドと商品を効率的に訴求することができるようになりました。

## ■中国向け越境 EC プラットフォーム『<sup>ワンダフル</sup> Wonderful Platform』について

日本の事業者と中国の消費者を直接結ぶ B to B to C の越境 EC プラットフォームです。インアゴラの運営チームが、翻訳、物流、決済、マーケティング、顧客対応などの全作業を代行するため、日本の事業者は日本の倉庫に商品を発送するだけで、巨大な中国市場に進出することができます。また、日本の事業者と中国人ユーザー双方の様々な需要を柔軟に汲みとるために、「出店」「仕入れ」「独占販売」全ての形態を採用している点も特徴です。



# Inagora

## ■Inagora 株式会社 概要

本社所在地 : 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 3F  
会社設立 : 2014年12月15日  
代表取締役 : 翁 永颯  
URL : <http://inagora.com/>

Inagora 株式会社は、キングソフト株式会社 代表取締役 翁永颯と、美容家であり MNC New York 株式会社 代表 山本未奈子により、2014年12月に設立されました。「ショッピングに国境はない。」という考えのもと、良質な日本製商品をライフスタイル情報とともに提供できる、中国向け越境 EC プラットフォーム「Wonderfull Platform」を構築しております。「言葉の壁」「物流問題」「決済問題」という3つの課題全てを解決できるワンストッププラットフォームを通じて、ブランドストーリーや口コミによるユーザー評価、商品の使い方やライフスタイル提案等の「情報」とともに「モノ」を越境させ、中国人ユーザーに良質な日本製商品を提供し続けて参ります。